



氷下 幻想の世界

斜里 群青、濃く淡く

【斜里】四日に流水 一歩ほどのクリオネが接岸した知床半島。地上からは白一色に見える流水帯の下に潜り海中から見上げると、透き通った海と大小さまざまな氷が織りなす群青の世界が広がっていた。

網走管内斜里町ウト口の海岸から五十メートル沖の海水温は零度。魚たちは海底でじっとしているが、「流水の天使」と呼ばれる体長

ダイバーの頭上で、青く幻想的な世界を描く大小さまざまな流水。11日午後2時、網走管内斜里町ウト口（茂忠信撮影）

類もの小さなクラゲがゆっくり漂う。

氷の厚さで太陽光の透過率が変わり、同じ青でも、微妙な濃淡の変化に魅了される。

だが、流水下での潜水は、特殊な環境で危険が伴う。専門インストラクターの同行が必須だ。